



活動報告

●政府・与党等への要望活動

【日時】8月6日(水) 10:00-16:10

【場所】首相官邸、議員会館、関係省庁

【参加】金井会長、高松副会長、寺野常任理事、久岡理事ほか

与党国会議員や関係省庁に対し、「政府に対する北陸経済界からの要望書」をもとに要望活動を行った。

金井会長、高松副会長、久岡理事からは、

- ・能登半島地震・奥能登豪雨からの復旧・復興
- ・北陸新幹線の大阪までの早期全線開業
- ・「地方創生2.0」に向けたDX・GX推進
- ・米国との相互関税に対する支援

寺野常任理事からは、

- ・産官学金連携の人材育成やスタートアップの創出

等について、それぞれ要望した。



【主な要望先】

林内閣官房長官 (写真)

自民党 小野寺政務調査会長

公明党 西田幹事長、中川北陸信越方面本部長

国交省 国定大臣政務官、足立鉄道局大臣官房審議官、沓掛道路局長

経産省 竹内大臣政務官

文科省 淵上研究振興局長、西條科学技術・学術政策局長、先崎大臣官房審議官

【詳細】 <https://www.hokkeiren.gr.jp/news/2178.html>

(担当：宮原、宮下)

●インドネシア行政官の北陸視察

【日時】8月6日(水)~7日(木)

【場所】富山市、(株)タカギセイコー新湊工場、津田駒工業(株)、石川県工業試験場

北経連・北陸AJECは、インドネシア中央政府及び地方自治体行政官12名に対し、政策研究大学院大学が修士(公共政策)を授与するEconomics, Planning and Public Policy Program研修後に北陸地域に於ける産業視察の受け入れを支援した。

まず、富山市役所で美濃部副市長以下に歓迎され、公共交通を軸としたコンパクトシティ戦略による都市経営の構築とその深化型市民中心・データ駆動型スマートシティに関する研修を受講した。

翌日の産業視察では、(株)タカギセイコーの新湊工場を訪問し、仲安取締役のご挨拶後、同社インドネシア現法のマルガディレクターが事業概要について説明した。その後、自動車部品の成形・塗装・組立ラインや金型センターを視察した。

次に津田駒工業(株)を訪問し、高納会長のご挨拶後、北野常務らが事業概要について説明した。その後、ショールームで最新の高性能織機の見学をはじめ、本社工場を視察した。

最後に石川県工業試験場を訪問し、工業試験場の歴史や役割に関する説明を受けた後、AIシミュレーションや3Dプリンタ等のデジタル活用ものづくり支援センターを見学した。

いずれの視察先においても、研修生からは活発な質疑が交わされ、自国と日本の違いや北陸企業の先進的な取組みについて学ぶ貴重な機会となった。



(担当：小島・成瀬)

●北陸新幹線建設促進石川県民会議 令和7年度総会

【日時】8月8日(金) 11:00-12:20

【場所】石川産業展示館2号館

【参加】400名

北陸新幹線建設促進石川県民会議の総会が開催され、敦賀以西の延伸について、米原ルートも含めて早急に全線開業の方策を検討するよう国に求める決議を再び採択した。

馳石川県知事は、敦賀・新大阪間について、「小浜ルート認可着工はこれ以上先送りにすべきではない。課題解決のめどが立たない場合は米原ルートを含めて検討し、一日も早い早期全線整備を目指すべき」と述べた。

金井会長は、金沢・敦賀間について、「開業により、北陸と首都圏との時間距離が大幅に縮まるとともに、北陸三県の主要都市が概ね1時間で結ばれ、北陸域内での交流の活発化、観光客の増加、企業進出や投資の活性化など非常に大きな効果が現れている。」と述べ、敦賀・新大阪間については、「大きな経済波及効果とともに、国土強靱化の観点から新大阪まで東海道新幹線とは別ルートで結ぶ必要があ

る。大阪までの一日も早い全線開業に向け、関西の経済団体や北陸三県と緊密に連携し、関西での機運醸成にも全力で取り組む」と意気込みを語った。

大会には、石川県選出の国会議員、蔭山関西経済連合会 リニア・北陸新幹線専門委員長、軸丸国土交通省北陸信越運輸局次長が出席し、挨拶した。

また、田中鉄道建設・運輸施設整備支援機構 北陸新幹線建設局長からは「新幹線建設の施工上の課題」について説明があった。



(担当：宮本)

●第32回北陸地域懇話会

【日時】8月8日(金) 15:30-17:30

【場所】ホテルフジタ福井

【参加】54名(会場47名、オンライン7名)

第32回北陸地域懇話会を開催し、国交省から北陸信越運輸局の佐橋局長、北陸地方整備局の神谷副局長をはじめ21名、北経連から金井会長はじめ33名が参加した。

金井会長は冒頭挨拶で、能登半島地震・豪雨災害の復旧・復興については、主要道路・港湾施設の耐震化など、将来に向けたレジリエンス強化が必要と述べた。また、観光の広域連携について、北陸を一体として捉えた周遊型観光ルートの整備の重要性について言及した。

その後、国交省から、北陸の地域づくりや運輸・観光施策の紹介があった。北経連からは、光野常任



理事が北陸の社会基盤インフラについて取組を、東田専務理事が第六次アクションプランの策定に向けた考えを紹介した。

自由懇談では、稲垣副会長が能登半島地震・豪雨災害について、林副会長が北陸の広域観光について、庵副会長が地域交通の支援について、北村常任理事が人流・物流機能の強化、物流DXについて質問・要望し、活発な意見交換となった。



(担当：池澤、澤田)

● 大阪での北陸観光 PR イベント

【日時】7月29日(火) 11:00-14:00

【場所】HOKURIKU+

北陸三県、北陸電力、北経連で構成する、北陸イメージアップ推進会議は、北陸三県の情報発信拠点 HOKURIKU+ (ホクリクプラス) において北陸の観光をPRするイベントを開催した。

Instagram「北陸物語」をフォローした約50名に北陸新幹線を模したすごろくに参加していただき、景品として北陸三県のお土産等をお渡しした。

参加者からは、「最近北陸に行ってきたよとても楽しかったよ」「北陸に行ってみたいね」といった声が聞かれ、イベントは盛況となった。



(担当：高橋、森岡)

今後の行事予定

◆第52回三県知事との懇談会

【日時】8月22日(金) 14:00-16:30

【場所】ホテル日航金沢 4階「鶴の間」

【テーマ】

- ①地域内連携による北陸の産業競争力強化
- ②北陸地域での人材確保・定着・育成に向けた連携策

【申込】〆切済み

(担当：宮原)

◆第21回 北陸(日本)・韓国経済交流会議

【日時】8月26日(火) 会議 10:00-17:30 (予定)

歓迎レセプション 18:00-20:00 (予定)

【場所】ANA クラウンプラザホテル金沢 3F「鳳」

【テーマ】「日韓国交正常化60周年、地域経済の成長と発展に向けて～経済連携と交流の拡大～」

- セッションⅠ：日韓会員自治体の地域活性化政策
- セッションⅡ：①カーボンニュートラル



<日韓国交正常化60周年記念ロゴマーク>

- ②女性活躍・DE&I
- ③港湾物流

【参加者】

- 日本側：中部経済産業局、北陸三県、関係経済団体、会員企業等
- 韓国側：産業通商資源部、4自治体(東海岸2市・2道)、韓日経済協会、経済団体、企業、大学、研究機関等、45名を予定

【日本側参加募集人数】80名を予定

【申込】〆切済み

(担当：小島・成瀬)



◆第28回三経連経済懇談会

【日時】8月27日(水)～28日(木)

【場所】磐梯熱海温泉 ホテル華の湯ほか

8月27日(水) 視察会

(会津若松市内 スマートシティ AiCT 他)

28日(木) 懇談会 (ホテル華の湯)

【対象】副会長、常任理事、理事、監事へ案内済

(担当：酒井)

お知らせ

■(一財)北陸産業活性化センターからのお知らせ 『デザイン思考による事業創出ワークショップ』開催のご案内

(一財)北陸産業活性化センター(会長：金井豊)では、北陸地域におけるフェムテック産業の振興により、女性が活躍しやすく、明るく希望に満ちた社会の実現を目指して各種活動を行っています。

このたび、その一環として、全業種の皆さまを対象に「現場のニーズから新たな商品・サービス開発の全体像を設計できる人材育成」に役立ててもらう実践型ワークショップを開催します。

【日時】9月4日(木) 9:00-17:00

【場所】北国ビル4F 会議室(オンライン併用)

【内容】

◆講義+ワーク

『事業化の視点を検証しながら、現場で本当に必要とされる商品・サービスの開発手法やそのための考え方を学ぶ』

◆講師 東京大学医学部附属病院

バイオデザイン部門長 前田 祐二郎 氏

【詳細・申込】8月29日(金)までに以下から申込

<https://www.hiac.or.jp/event/2195/>

【主催・事務局】(一財)北陸産業活性化センター

【後援】北陸経済連合会、とやまヘルスケアコンソーシアム、石川県次世代ヘルスケア産業協議会、福井しあわせ健康産業協議会

【協力】経済産業省中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局

【問合せ】(一財)北陸産業活性化センター

TEL: 076-264-3001

(担当：宮西)

■中部圏社会経済研究所からのお知らせ 第23回中部社研時事フォーラム開催 『文化財を活用した地域振興』

【日時】10月2日(木)13:30-16:15

【場所】富山国際会議場(オンライン併用)

【内容】

□基調講演

「文化と観光とまちづくりのよき関係について」
文化庁 文化観光推進コーディネーター
丸岡 直樹 氏

□事例紹介

- ①「旅人と地域をつなぐ金沢町家宿の取り組み」
国登録文化財 金沢町家・ゲストハウスあかつき屋代表 丸岡 直樹 氏
- ②「つくる人をつくる 日本遺産からはじまった井波のあらたなまちづくり」
一般社団法人ジソウラボ代表 島田 優平 氏
- ③「石川県七尾市 歴史的建造物やまち並みを活かした取り組み」
岡田翔太郎建築デザイン事務所 岡田 翔太郎 氏

□パネルディスカッション

ファシリテーター

愛知県立大学 情報科学部 教授 小栗 宏次 氏
パネラー

丸岡 直樹氏、堀田 哲弘氏、島田 優平氏、
岡田 翔太郎氏



【申込】9月29日(月)までに以下 URL から申込み

<https://www.criser.jp/seminar/>

【問合せ】公益財団法人 中部圏社会経済研究所

TEL：052-212-8790

E-mail：criser@criser.jp

(担当：高橋)

■カーボンニュートラル BASE 北陸からのお知らせ マッチングイベント開催・登壇者募集

産官学金連携のプラットフォーム「カーボンニュートラル BASE 北陸」は、石川県の「いしかわゼロカーボンの日」にあわせ、マッチングイベントを開催します。つきましては、CNの商品・サービスをPRする登壇者を募集します。

【日時】10月10日(金) 14:30-16:40

【場所】石川県庁 1105 会議室 (オンライン併催)

【募集内容】自社のCNに関する取組み紹介、商品・サービスをPRする企業8社程度。登壇時間は10分程度。

【申込】登壇ご希望の方は、8月25日(月)までに事務局の宮下(miyashita@hokkeiren.gr.jp)までご連絡ください。改めてイベント参加についてご案内します。

(担当：宮下)

以 上